

「(仮) 飯山ぷらざ」建設検討委員会 会議概要

1 委員会名	第7回「(仮) 飯山ぷらざ」建設検討委員会
2 日時	平成24年1月12日(木) 15:00~16:45
3 会場	飯山市役所ほか
4 出席者	真野委員長、服部副委員長、丸山委員、堀内委員、滝澤委員、 小山委員、福澤委員、荒木委員、仲條委員、吉越委員、月岡委員
5 市側出席者	(事務局) 建設水道部長、まちづくり課長、 まちづくり課まち並整備係長、まち並整備係5名
6 その他出席者	「(仮) 飯山ぷらざ」建設庁内検討委員会3名
7 傍聴者	3名
8 報道関係者	3社
9 会議概要作成年月日	平成24年2月6日

協議事項等

進行：建設水道部長

1 開会

(建設水道部長)

2 あいさつ

(委員長)

前回の委員会から3ヶ月が経ち、この間、建設業者の選定・建設用地の選考など市長・議会・市民を交えて様々な議論をしていただいた。今後は基本設計に入りながら、運営等も含めた検討に向かって進んでいくという大きな節目を迎えている。引き続き協力をお願いしたい。

3 経過報告

(事務局)

前回の第6回検討委員会以降、市民説明会を10地区計11回開催した。参加者数は計166名の市民が参加いただいた。

市民説明会では、検討委員会での検討内容について説明をした。その際、アンケートや質疑応答で、参加された皆さんから出された意見・要望をまとめ報告書(案)に添付させていただいている。4の総合的な意見ということで、若干多かった意見として「身の丈にあった建物規模」「過疎債とはいえ3割は借金である。将来市民に負担がかからないように」という貴重な意見をいただいた。内容についてはホームページ等で公開している。

2の建設候補地では市役所周辺が2人、現飯山駅西側が26人、新飯山駅東側が3人で、各々理由についても記載させていただいた。

(建設水道部長)

経過報告で何かご意見がありましたらお願いします。

尚、本日傍聴者が3名いらっしゃいますのでよろしくをお願いします。

それでは、議事に入りたいと思います。進行を委員長にお願いしたいと思います。

4 議事

(委員長)

今日の議事は3点。(3)のその他は除きまして、大きく言うと2点、前回の委員会から進展があった部分で、1つ目は建設場所について、2つ目は報告書の案ということで、その2点について審議したいと思う。建設場所については、前回からこれまでの経過報告ということで事務局から説明をお願いしたい。

(1)建設場所について

(事務局)

12月27日付けの信濃毎日新聞の記事を添付してありますが、建設場所は、現飯山駅西側に決定させていただいた。決定理由については、老若男女誰でも利用しやすい場所ということ、広域的な活用を図れる場所、駐車スペースが十分とれる場所であるとともに、近くにある総合学習センターとの一体的な利用も想定される場所が適当であるという事で、12月26日の議会の全員協議会の中で市長から表明があった。議員の皆さんにつきましても今回の決定に対して良い施設をつくっていただきたいという期待の言葉もいただいた。他2箇所について、市役所周辺は、個人住宅・会社等の事務所がかなりあり、用地取得にお金がかかり、それによる建物本体の建設費が少なくなってしまうこと。新幹線飯山駅東側は面積が不足するという事と区画整理事業の調整が非常に難しいという部分も含め、新駅周辺については民間での活用を念頭においた方が良いなどの理由で現飯山駅西側に決定された。決定については、この検討委員会での中間報告の3案の記載内容について慎重に検討した結果ですのでよろしくをお願いしたい。

(委員長)

市では、市長・議会を含めこの場所に決定し、この委員会として、前回皆さんに3つの場所を評価していただいたので、その辺も含めご意見等がありましたらお願いしたい。

(委員)

市は委員会の報告を受け、議会等と相談の上結論を出したので、この検討委員会であれこれ決める立場ではない。議会全員協議会ではどんな意見が出たのかお聞きしたい。

(事務局)

特に質問が出たわけではなく、良い施設をつくってほしいという意見のみです。

(委員長)

それでは建設場所については、この決定を重んじ、今後の施設充実に委員会として注視する方向でお願いします。

続いて次の本報告(案)について、事務局から説明をお願いします。

(2)報告書(案)について

(事務局)

建設場所の決定を受け、本日は報告書(案)ということでお示ししている。期間が無く本日

始めてご覧いただく形になり申し訳なく思う。変わったところについて本文を読みながら説明させていただきたいと思う。

大きな流れとして、中間報告の3案併記の提言内容が経過としてわかるような形で比較表を残し、そして10月24日に中間報告をし、それを受け市長から12月26日に建設場所の決定、その決定を受け最終報告とするという内容でまとめた。

この中で特に施設機能について、場所が決定されたことを受け、周辺の施設と連携できるものなどもう一度精査していただければと思う。

なお、この報告書については、今日まとめさせていただければ速やかに市へ提言し、それを受け、市の方針を示しながら基本設計の発注に入りたいと考えている。

以下、報告書(案)を読み上げ説明。

(委員長)

中間報告で骨格になるものはかなりまとめてしまっている。機能は、3案併記で位置がどこになるか決まらない中でのまとめと、今回、市から表明があった後で機能を考えることは少し違う。特に機能とまちづくりにおける位置づけ、運営管理などの面で今後考えておくべきことがありましたら発言いただきたい。

私が気づいた事は、2ページのデザインに配慮した施設というところで、デザインを持った施設とか、デザインを有した施設とする、そういう細かい言い回しでシンプルにした方がいいと思う。

もう一つは最後に加えられた7ページで、建設場所が決まる経緯とそれを尊重するという箇所、(3)だけが建設場所というのではなく、建設場所表明後の対応とか、建設場所が決まった後どう周辺と調和していくとかにタイトルを調整いただければと思う。

機能に関しては、市民説明会でもこれは入れた方がいい、これはいらぬなど色々な意見があった。ダブっている施設や、ダブっているけれどこれは入れておいた方が良くとか、ダブリは極力廃して文化ホールという基本的な機能を充実させるなど、皆さんのお考えを伺えればと思う。

交流、にぎわい機能や附属施設のところはまだ大分幅が広い。特に屋内機能・屋外機能は、全部入れることも出来ないし、例えば、図書館も入れてトレーニング室もあって観光案内もしていくなど、どんどん付加機能が大きくなってしまう。こういう附属機能もありますというぐらいのものに留めておくなどご意見をお願いしたい。

(委員)

この報告書は3案の考え方であって、健康的なものやにぎわい交流、市街地の風景にあったという文章が入っている。建設場所が決定したということで機能も変わってくる。それを今日一日で議論できるか疑問である。例えば、西側に決まったらホールだけでもいいとか、十億円以下で済ませるとか色々なことが考えられるのではないかな。もっと深く議論すべきだと思う。

(委員長)

今のお話は、進め方や今後の内容の議論についてのご提案ということによろしいか。

(委員)

私は市街地周辺を見据え、意見を言ってきた。その言葉がまだ多くこの中に入っている
ので、それは決定された場所では必要ないと思っている。西側に決まったのであれば、そ
れなりの施設やその場所にあった機能や規模がある。

(委員長)

建設候補地の比較検討及び評価のページに西側の場合の機能がありますので、それに則
して少し整理をする。これまでも施設機能について議論されているので、集約して書き込
むことでどうでしょうか。7ページには建設場所が表明された後のことが書かれているの
で矛盾はしないと思う。

もう一つは、この資料がプロポーザルなどの基本要件ではない。しかし議論した経緯を
しっかり載せていかないと誤解を受けてしまうので、一からやり直すことは出来ないが、
今のような経緯をごまかさず書いておくことが必要だと思う。

(委員)

7ページにある、委員会として市の決議を尊重したいという表現は修正したほうが良い。
また、建設場所の決定を受け、今後の提案など課題を書いたらどうか。普通、答申が出
てからどのようにしましょうということにはならないので、3案を示した後に場所の決定
がされ、それによって機能はフルセットはいらなくなるので、精査をして委託に出せばと
思うが。

(委員長)

7ページにある、決定を尊重するというところを修正し、この決定を受け機能なども再
考、整理する必要があるということによろしいですか。

(委員一同)

はい。

(事務局)

3案の評価表の中に、場所ごとに想定される機能があり、すでにまとめていただいでい
ますので、建設方針を作成するにあたって参考にしながら、共通する部分については精査
し進めていきたいと思う。

(委員長)

場所の決定を受けて機能を再精査していくということを委員会としてもお願いしてい
く。書き方は私の方で手を入れますので任せいただければと思う。もう一つの付属施設や
交流機能で、この場所で建設するにあたり加えておくべき内容がありましたらお話いただ
きたい。

(委員)

建設場所は決まったが、駅西側の動線は現在未着手で、もっと考える必要があるのでは
ないか。公民館側から駅西側へは行けるが、西敬寺の方へ行く道や周辺整備はどうなるの
か。やはり集まりやすい場所をつくるには、その辺も含めて考えないと細い通りで車が全
然通れないということになってしまう。それは新幹線周辺の施設整備と併せて検討すると

いうことか。

(事務局)

市の計画では、現在の斑尾線に新たに 16mの道路がつながり、城南中学校の下側に駅西線を通す計画になっている。この 2 本からのアプローチが主となり、敷地の西側から北へ向かっては何らかの道路改良が必要と思っている。

(委員長)

あまり細かいことは書けないが、7 ページの部分に書き足す方法で、例えば総合学習センターとの接続を考えたアクセスや周辺環境の整備にも配慮するとか、周辺整備を充実させるとかいうことを書いたらと思う。

(委員)

現在の市道は狭く、市民会館が出来てもなかなか入りにくい感じがします。

(委員)

ホール機能の記述を見ると 2 つのホールを造るようになってしまう。実際、2 つ造るという検討はあまりされていない。検討しておく必要があるのではないか。

(委員)

兼ねてから 2 つもホールが必要なのか疑問に思っていた。

飯山市の地域交通会議での資料によると、飯山市の人口は平成 22 年には 2 万 3 千人ほど、5 年後には 2 万 1 千人、10 年後は 2 万人を割って 1 万 9 千人という予想である。当然、生産人口は減り、新幹線が開業した時に人口流出に拍車がかかるのではと危惧している。

今の話のように、今まで無かったものは本当に必要なのか見極めた方が良いと思う。造ったけれど 1 年間のうち 20~30 日しか使わないということでは大変なことになると思う。

(委員長)

今の話はこれまで議論されてきたことであって、大きいホールといっても過大にならない 500 席程度という話が出ていた。もう一方では極力コストを安くするようなホールで 200~300 席程度の方が使い勝手が良いのではと話が出ていた。それは多目的に使うのか、階段式型がいいのかという話も並列したまま今回の議論に至り 4 ページにまとめた形になっている。大きさや規模をはっきりした形で示すとなると、建設コストや運営コストなど基本設計の中で検討しなければ結論を出せないことも、この検討委員会でしっかり決めないと報告にはならない。これまでの議論の経緯ではそこまで 1 個に絞れなかったが、その辺はどうお考えか。

(委員)

この文章を見る限り 2 つ造るようになってしまう。例えば 2 つ造る方法があります、1 つ造る方法もありますというような、誰が見ても選別できるような文章にする必要があると思う。コストなどを考えた 2 つの案を文章化していく方がいいと思う。

(委員)

それに付随して、現在の文教施設にどういうものが集積されているのかははっきりつかんでいない。こういう使えるものがあるということが分かると仕分けし易く、意見が出しや

すいと思うが。

(事務局)

ホールなどは使い方を示す中で、大きさや規模は基本設計の中で比較検討していく必要があるという内容が委員会の意見だと理解していた。また、交流・にぎわい機能に関しても、周辺の文教施設に同様な機能もあり不要と思われるものも確かにある。今後、市の方針を示し、基本設計の中で検討していきたいと考えている。それによって、現在ある機能との整合や、今あるものを改善することによって調整が図れるものと考えている。

(委員長)

4 ページで、例えば 1 番目は質の高い芸術・文化活動に対応できる舞台設備や音響設備。2 つ目は展示会や避難所などとして使う場合も含め、多様なニーズに応じられる空間とする。あくまでここではホールに求められる機能と目的だけを書く。

そして課題に、2 つ造る場合は 500 席と 200 席とか、そのような書き方にしたらどうか。

また、現機能との関係は、7 ページに現機能との関係をよく整理してコンパクトにするというように修正したらどうか。

(委員)

質の高い、500～600 席程度というのは良いと思う。もう一つ、多目的に使えるものについては、今の公民館の講堂は 200 人ぐらい入れる部屋で、その利用率は非常に高く市民会館と取り合いになっている感じがする。隣にあればそれは避けていけるという精査もしてもらいたいと思うが。

(委員)

これはきっと市民会館が出来れば自然に解決すると思う。公民館の 2 階で 2 百何十人集めて演奏会をしたのですが、やはり 200 人は無理だと思う。

(委員)

500 席のホールで開催するという方法は可能ですよね。

(委員)

500 人のホールができればそちらを利用すればいいので、公民館に 200 人を入れるということは今後考えなくていいと思う。

(委員長)

公民館とはかぶらないということですね。

(事務局)

以前説明いたしました、現市民会館の 3 階の大会議室の使用は、平成 21 年度では年間 228 日利用している。年間の開館日数が 300 日程度のうち 76%、228 日利用がある。

(委員)

公民館の駐車場も意外と車がいつもいっぱいに停まっている。私も 4 月から公民館に行くようになったが、活用されていてびっくりしている。

(委員)

造った後に魂を入れていかなければいけないので、指定管理者制度などランニングコス

トがかからないためにどうするかということが少し抜けているように思う。

(委員)

基本設計では、委員がお話されたランニングコストや運営コストもシュミレーションしていいものなのか。

(委員長)

運営、管理については報告書に書いてありますので、設計にどう反映させるかどうかは、今後のスケジュールの中でやり取りをし、考えていったら良いと思う。

(委員)

過疎債の制約があると思うが、それをチェックする必要があるのではないか。過疎債を使ってカフェをつくることは出来ないとわかっていれば、ここに入れても仕方がないが。

(事務局)

業者が入って営業を行うということに対しては過疎債の対象にならない。ただし、過疎債の対象にならなくても、面積やその部屋の建設費を計算して対象から外すことによって建設自体は可能になる。

例えば、市でその中の面積分を 100%単費で建設し、入居業者から使用料をいただく考え方である。

(委員)

過疎債は使えなくても、市は税金を使って造ることができるわけですね。

(事務局)

市では過疎債のほかに補助金が入らないか、現在調査をしながら少しでも市の持ち出しが少なくなるよう研究をしている。

(委員長)

他にいかがでしょうか。

(委員)

説明会の意見の中でカフェの話が出ていますが、福祉団体の参入なども考えられることなので、5 ページでは店舗・企業・団体などの参入によりと書いていただければと思う。

(委員長)

店舗・企業だけでなく立ち寄る場は造れるということですね。

(委員)

屋外機能で、バスケットボールコートやスケートパークなども過疎債は適用されるか。

(事務局)

可能だと思う。

(委員)

3 ページに飯山の自然条件を考慮した雪に強い施設と書いてあるが、都会の人が設計すると雪国のことをよく知らないなので、その辺は十分な配慮をお願いしたい。

(委員長)

かなり多くのご意見をいただきましたが、とりあえず報告書(案)に関しましては、市と私

の方でこれを踏まえて修正し、再度皆さんにお戻ししながら最終的なまとめにもっていき
たいと思う。次の委員会の開催はどうでしょうか。

(委員一同)

必要はない。

(委員長)

それでは、おまかせいただいて、委員の皆さんに見ていただき、それを踏まえてまとめ
るといふことでよろしいか。

(委員一同)

はい。

(事務局)

それでは委員長と事務局で文章の構成をし、月曜日に発送したい。

4 その他

今後の予定

①設計業者選定について説明 (抜粋)

②(仮)飯山ぷらざ建設検討委員会スケジュールについて (抜粋)

(委員長)

設計業者の選定とこの報告をどう広めていくかという話で、建設検討委員会が基本設計
と絡みながらどういう役割を持つかということに関し、運営面も含めご意見をいただきた
い。

(委員)

基本設計で運営コストのシュミレーションができるようにしてほしい。

(委員長)

まず2つ方法が考えられ、設計業者の決定という過程の中で、公開審査の場でしっかり
考えを聞く方法が一つ。もう一つは基本設計の中で設計案が出てきたときに考え方を聞く
方法でやり取りができると思う。

(委員)

こういうものが欲しい、こういう機能を持たせたいというのが今までの検討委員会だっ
たと思うが、完成した後どのくらいお金が必要になるのかというお願いも可能か。

(事務局)

プロポーザルではこの委員会の代表として、業者を選定する委員のメンバーに真野委員
長・服部副委員長に参加していただきたいと市では考えている。その中で、こういう条件
を出して欲しい、ヒアリングの時にこうしてほしいということがありましたら言っていた
だければと思う。

(委員)

確かにランニングコストは非常に重要な位置づけだと思う。これから10年、20年使っ
ていくとかなりのコストになると思う。

(委員)

何でこんなものをつくったのか。と言わせないようにしなければいけない。

(委員長)

それは1ページにも書いてあり、市長も言われていることで、提出されたものだけでどこまで見極められるかわからないが、どの段階でもそれは共通でやっていくべきことだと思う。

(委員)

基本設計が出来上がり、その段階で地元にいる設計の専門家の皆さんに入ってもらって目を通してもらうことはできないか。

(委員長)

ワーキングチーム的なものをつくったらどうかということですね。

(事務局)

飯山の雪などを熟知している地元の業者とJVを組んで行っていきたいと考えている。

(委員)

用地取得とスケジュールにあるが。

(事務局)

24年度の中に基本設計、実施設計と同時に用地取得がある。これは建設場所に現在、土地開発公社所有の土地と民家がある。

(委員)

建設場所はどこの行政区なるのか。

(事務局)

場所としては奈良沢区。鉄砲町・奈良沢上倉3区が共同して周辺の山や水路の管理をしている。区長さん方に調整していただいて、委員の選出については協議しながら決めていきたい。

(委員)

集客施設としてかなりの人達が入ってくるとなると、関連地区住民も仲間に入れて知ってもらわないといけないと思う。

(委員)

施設の例として以前いただいた資料を読んでいると、運営管理で成功しているところは、事前に組織が出来ていると書かれていた。芸術関係など運営団体が集まって、利用検討委員会のようなものをつくっていく予定があるのかお聞きしたい。

(事務局)

運営管理については、準備会などを立ち上げるなどして進めていく方向になると思う。

(委員長)

この会は建設検討なので、行く行くは運営や利用という話も必要になってくると思う。

(委員)

場所が駅西側に決まり、周辺の文教施設との関係、駐車場の位置や広さ、道路の整備な

どいろいろリンクさせて考えていかないと、造ったが使い勝手が悪いということが一番の問題になるので、上手に考えていただきたいと思う。

(委員)

駅西口の立体駐車場を使う予定か。

(事務局)

駅西口も想定でき、周辺施設の駐車場の利用形態や位置取りなども含め総合的に考えながら進めていきたいと思う。

(委員長)

それでは議事進行は一通り終了とさせていただきます、事務局へお返しします。

(建設水道部長)

ありがとうございました。それでは全体を通して何かありますでしょうか。

(副委員長)

まだ市のホームページを確認していませんが、駅西の本来の利用計画がそのままになっているのではないかというお話がありまして、決定が出たら市のホームページは速やかに変えた方がいいというご意見だと思うのですが。

(建設水道部長)

確認して、誤解のないように対応したいと思う。

(委員)

今回のプロポーザルの日程などもそういうところで公開されるのですか。

(事務局)

プロポーザルについては、要領を1月下旬頃公告しますという予告をホームページに出しています。位置の決定についてもアップしております。

6 閉 会

(建設水道部長)

最終報告につきましては早急に修正をいたしまして送付させていただきます。

また、ご意見等がありましたら連絡をいただきまとめ、市長へ提出したいと思っておりますのでご協力をお願いします。

以上で第7回の委員会を終了させていただきます。

次回は新年度に入ってからとなりますのでよろしくをお願いします。

終了